

とよなか市民環境会議 ニュースレター

Toyonaka Citizens Environmental Conference

2001年(平成13年)12月号(通巻第15号)

大谷農園とコープ茨木白川店を見学

生ごみプロジェクトメンバー18名が10月29日豊能切畑の大谷農園と、最近堆肥化機械を設置されたコープ茨木白川店へ見学に行きました。大谷農園は、昨年の春からプロジェクトの実験堆肥を何度か使っていただき、堆肥を運んでその帰りに野菜を少し分けていただいたり、文字どおり農家と顔の見える関係が出来ております。



青々とした大根葉が、みるからに食欲をそそり、食べ方など料理談義も盛り上がりました。大谷さんはここに堆肥を入れ始めて2年目、今年の出来具合に自分でも驚いていると言われました。特産地に負けないくらい大根の肌につやがあるそうです。

夏に実験堆肥をトラックで取りにこられたとき、「みなさんで芋掘りにおいて下さい」とお誘いを受け、実現しました。大谷さんの座敷をお借りして昼食後、いざ！農場へ！

初めに、バスで移動したのは、だいこん畑でした。すくすくとのびた出荷間近の大根を2本ずつ抜かせていただきました。大きいのを抜いては喜び、選んだつもりが思ったほどの大きさでなかったら残念がり、童心に返って楽しみました。自分が世話をしていないのにもかかわらず、収穫の喜びというのは格別です。

次に芋畑に移動しました。お聞きすると、大谷さんご夫妻でたんぼ6反、畑7反の世話をされておられ、どこにそのパワーがあるのか不思議でした。前日の雨で地面がやわらかく、手分

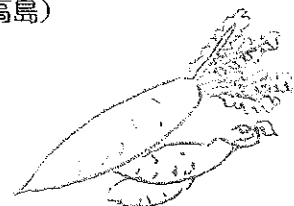
けしてとんとん掘りあげました。^{うねほほ}畝幅がひろいからでしょうか、とても大きい芋が出てきては歓声があがります。

最近、芋も小ぶりののが好まれ、大きいのは売れないそうです。思わず、大きい芋に同情してしまいました。掘り上げ作業が一段落すると、三三五五バツ取りや、雑草の中にあっても負けずに元気なほうれん草を引き抜いたりして、楽しいひとときを過ごしました。

美味しい空気と金時芋をお土産に帰途につきました。(高島)

本号のハイライト

- P. 1 大谷農園とコープ茨木白川店を見学
- P. 2 とよなか環境フォーラム
- P. 3 各部会・プロジェクト活動報告
- P. 6 参加団体の横顔・松尾電機(株)
- P. 7 ひと・人・hito -澤温 院長-



「参加・協働=パートナーシップ」 とよなか環境フォーラム

11月5日午後2時から、豊中駅前すてっぷホールで第3回とよなか環境フォーラムが開かれました。この日の参加者数78人。昨年までの中央公民館での円卓方式と打って変わり、舞台上にパネリストが並んで行うフォーラムになったのは、「参加者の席にも机を」という意見が寄せられていたことによるとか。

今年のテーマは「参加・協働=パートナーシップ」一色市長のあいさつに続き、環境報告書についての説明が、本岡環境企画課長と審議会専門委員佐川直史さんから行われる。

活動発表は、市民活動課羽守課長から「市民公益活動支援・協働の推進」が、大丸ピーコック古沢さんから「マイバッグ運動の取り組み」が、市民環境会議ワーキンググループの新開さんからは「小学校での出前環境学習」が。

会場から2人の意見を聞き、最後にコーディネーター久隆浩さんは「これからは『ねばならない』よりも『しよう』の時代。出前学習はさらに『で

きる』ことの意志の現れだろう。情報交換の場がいっそう大切になってくる」とまとめ、フォーラムを終わりました。(奥野)



環境報告書と私

10月17日、『豊中環境報告書と私』の文章用資料として、1999年度の年次報告書と2000年度の間接報告書が環境企画課から届いた。とよなか市民環境会議ニュースレター企画編集スタッフになって、初めての仕事。はりきって年次報告書を読みはじめたが、冒頭の『豊中アジェンダ21』の言葉で、いきなりつまづく。『地球環境を守るとよなか市民行動計画』と説明があるが、具体的にどんな行動で、何年計画で、どんな目標と評価方法で、市民には具体的にどんなメリットがあるのだろうか？ 市民を対象にした広報アンケートでの知名度は13.2%。よくわからないのは私だけではないと、すこし安心する。

年次報告書には、豊中市のあらゆる環境の調査結果がグラフや表で掲載され、調査も大変だったと思うが、専門用語が多く、全体的に豊中の環境がよくなってるのか悪くなってるのかわからない。この報告書には同様の市民の意見が載っていて、次の年度の間接報告書では、表現が多少わかりやすく改善されているが、一般市民にはまだまだ難解だ。

年次報告書の『環境フォーラムでの市民の意見』で『若い人の出席が少ない』という言葉がひっかかった。私も含めて若い世代は、決して環境問題に関心がないわけではない。

男性は会社に出勤、主婦も教育費や住宅ローンのためにパートに出ていることが多く、平日は働き、休日はたまった家事をするのが精一杯で、平日の昼間に行われることが多い環境関係のイベントや会合に参加しづらく、環境問題に取り組むグループに参加することも難しい。ゴミの分別やリサイクル、電気やガスの節約、買物袋持参など、個人でできる環境への取り組みには関心が高いのだが、なかなか『次の一歩』が踏み出せないでいる。

インターネットやケーブルテレビ、広報で環境情報の提供は、今後ますます重要になってくるが、『環境を守ろう』のスローガンだけではなく、例えば広報で『とよなか市民環境会議では公園の間伐材の竹をリサイクルした竹炭を作っています。竹炭は水の浄化や空気中の不純物を吸着する効果があり、健康にもいいので、ぜひお使いください』というような具体的な提案があると、若い世代も『次の一歩』を踏み出しやすいのではないかと思う。

環境問題は、私たちの世代だけでなく、次の世代で影響が及ぶ問題なので、地道な取り組みを、いかに長く続けていくかが重要で、まだそれははじまったばかりだ。(小南)

交通部会 「そね21の会」と曾根通過交通調査

9月17日 7:30~8:30

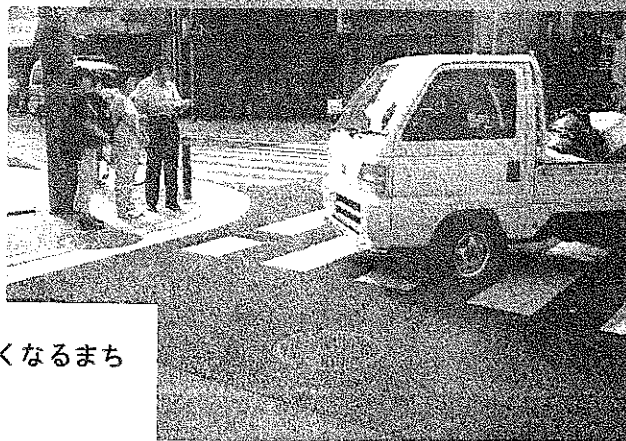
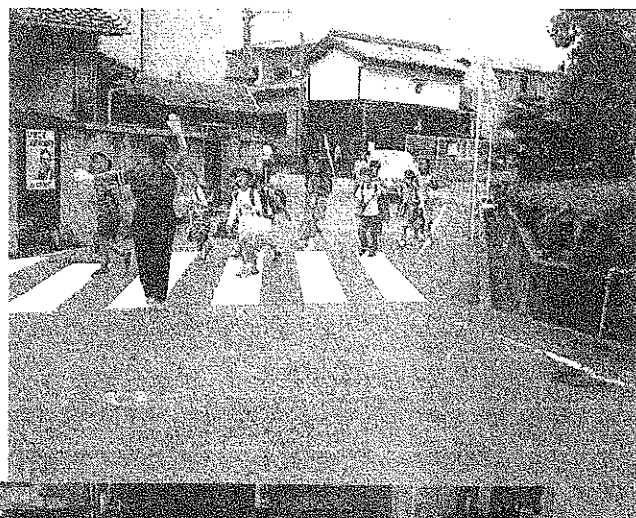
交通部会はまちづくり研究会「そね21の会」が行った曾根駅西地区の通過交通調査に参加しました。朝の通勤時間帯に大きな道路の渋滞を避けて、狭い生活道路や通学路を通り抜けていく車があります。狭い三叉路に右左折する車やバイク、自転車がひしめきあってひやりとする場面もありました。

原田小学校に向かう児童たちの列が、信号のない横断歩道を渡る間にも次々と車が来ます。20km制限のかけられている道路でも平気で40から50km出して通り抜けていきます。児童の登校時間帯と大阪に通勤に向かう車が曾根を通り抜ける時間帯が重なっているのでしょう。4トントラックが4m道路を通っているところもありました。狭い道をさらに狭くしているのが違法駐車です。

他の部会からの応援もたくさんあった調査でしたが、子どもたちの安全が心配になりました。(富田)

【環境目標像】

車降り 歩いて楽し 散歩道 思わず寄り道 したくなるまち



産業部会：京都環境マネジメントスタンダード（KES）の勉強会

講師 鍵谷誠一さん KES 認証事業部主幹審査員

京都の「京のアジェンダ21フォーラム」は、本格的なISO（国際規格）に取り組む余裕のない中小企業向けの簡易版環境マネジメントシステム《京都環境マネジメントスタンダード（KES）》を立ちあげました。環境への取り組みを普及させるためのものです。

基本的な仕組みはISOと変わらないのですが、構築していくために最も難しく手間のかかる企業活動の環境影響の評価の部分をチェックリスト式ですむように簡易化しています。審査委員もボランティアで審査にかかわるなど、費用も手間もかなり少なくてすみます。

KESには初期版のステップ1と少し上のステップ

2があり、ステップ2からはISO14001に進むことも出来るようになっていきます。

ISOを取得した大手企業に出入りしている下請け業者や納品業者などにこのシステムの導入を進めようとしています。グリーン調達条件として「納入物品そのものの環境負荷が少ない」ことだけでなく、「納入業者が環境に配慮した事業活動を行っている」ことが求められています。

KESを取得していれば2番目の条件を満たしていると認める大手企業が出てくることでしょう。官公庁が入札の必要条件に入れるようになれば、事業者の環境面での選別が始まることとなります。(富田)

自然部会 水生生物観察会

7月31日 千里川 箕輪親水公園

豊中の河川の水質は良くなっているのか、千里川に関していえば水の澄み具合は見た目にも良くなったように思うし、群れをなして泳ぐ魚の種類もコイやフナが多かったところに比べて、次第にオイカワが多数見られるようになってきた。ドジョウも見つかったし、もちろんナマズもいる。これらを狙って、コサギやゴイサギ、アオサギも飛来するし、運がよければカワセミの美しい姿にも出会える。このよう

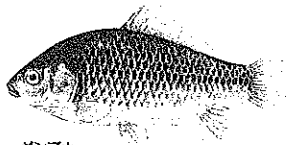
に一見して動物が多いということは、これらを育てる小動物（エサ）も多いということであるが、さて水質はどうであったか。

川の汚れの程度を簡単に知る方法として、そこに住んでいる水生生物を調べる方法がある。指標生物を書いた表があれば、それに見つかった生物を記入していくだけで、そこがどれくらいのきれいさであるかがわかる仕組みになっている。

観察会で見られた生物を見る限り、見た目ほど

当日採集できた生物

【魚類】 オイカワ
ギンブナ
ドンコ
ドジョウ



ギンブナ
全長18~25cm

【昆虫類】 イトトンボ(幼生)
中型トンボ(幼生)
トビケラ
カゲロウ →
アゲハチョウ



【その他】 ウシガエル(幼生)
蛙(幼生)
ヌマエビ
アメリカザリガニ
ミスムシ
ヒラマキミズマイマイ
サカマキガイ
ヒル
イトミミズ



・にごり なし
・におい なし
・指標による判定
よくれた川

にはきれいなランクにはならなかった。しかし、千里川を守ろうという人達が目に見えない努力を重ねているし、1年に1回とはいえ、多数の市民が参加して清掃を続けてきている。これらのことが少しずつではあっても市民の河川に対する関心を高め、千里川の浄化に関係してきていると思う。

川が美しくなるということは、そこを訪れる人々の心を和ませ、豊かな気持ちにさせる効果がある。これからは千里川にとどまらず、天竺川、高川も美しくするような会を持ちたいと思う。(山口)

企画屋本舗 第2回まちがどうオッチング

春の第1回「岡町あたり」に引き続き、11月3日（文化の日）第2回「服部・浜・小曽根あたり」を開催しました。

当日は雨天にもかかわらず29人参加し、服部天神、天竺川、浜の今西家、小曽根の西福寺、住吉神社を回りました。目玉は西福寺の襖に描かれた国指定の重要

文化財『^{さぼてん}仙人掌群鶏図』です。普段は蔵の中に収蔵されているものを毎年文化の日（雨が降らない特異日）だけ、虫干しのために本来の襖として数居に

はめ込まれた形で見学することができます。しかし、当日は虫干しを始めていまだかつてない雨天、これでは虫干しにならないため見られないのではないかと案じながら行ってみると、「遠方から来られる方も多く虫干しを中止するわけにはいかない」という住職のご好意で見学でき、また説明までしていただきました。トラブルや事故もなく無事終了しました。関係者の皆様には感謝感謝の一日でした。(中井)

生活部会 見学会報告

トイレットペーパーを造る西日本衛材

リサイクル工場の見学

9月17日朝10時半、生活部会はマイクロバス2台で龍野市にあるトイレットペーパー製造工場の見学に行きました。参加者38人。

行き先の西日本衛材(株)は、40年前から古紙を主原料にしてトイレットペーパーに取り組んできた工場。

環境問題が地球的な課題になって以来、「エコロジー」のことが会社としてのキャッチフレーズになっていました。99年に早ばやとISO14001を取得し、芯なしのトイレットペーパー「コアレス」などを造っていました。

この工場で原料にしている古紙は、60%が印刷や製本の作業工程からでてくる古紙、15%が牛乳パック、25%がオフィス用紙の割合だとか。クレーン車でそれらを溶解槽に入れるところを見学しました。

溶解槽は、水で古紙をどろどろに溶かし混ざっている金属屑やプラスチックを分離しているところ。もちろん中を見ることはできません。

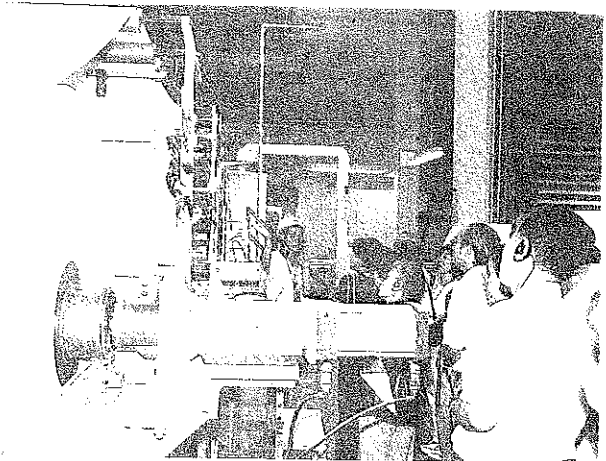
水に溶けた古紙は次に熟成タワーに送られます。25メートル程のタワーは遠くからも目立つ構造物で、洗濯機のようなものだと言われたこの装置が工場の中心部分。ここで古紙に印刷されていたインキやその他の汚れが分離しやすくなり、つぎのフローターではインキは泡とともに洗い落とされます。

汚れは炭酸カルシウムなどとともに沈殿除去され、きれいになったパルプはいよいよ紙すきの工程へと運ば

れます。

本当はもう少し細かい工程があるのですが、ざっと以上のような流れで、紙の形になったものはトイレットペーパー7500個分に相等する1トンの巨大なロールに巻き取られます。

1時間半程の説明と話し合い、40分程の工場見学でしたが、この間に見学者がヨーロッパのホテルから持ち帰ってきた灰色のトイレットペーパーなどを見せて、「日本ではなぜ真っ白な紙しか造らないのか」と質問。どうしたら白色度の低い紙を流行らせることができるか、一緒になって考えました。(奥野)



▲ 左端は裁断する前の大きなロール

スーパー店頭で買物袋のキャンペーン

11月7日から11日にかけて「とよなかマイバッグ合同班」は市内のスーパー12店の店頭で、お店側にも協力してもらい、アンケート1300枚を集めるキャンペーンを行いました。

合同班としてキャンペーンに参加したのは、とよなか消費者協会・廃棄物等減量推進員・とよなか市民環境会議生活部会のスタッフ。その他ワーキンググループのメンバー、大阪北生活協同組合の環境グループ、労働組合などにも協力を願い、延べ103人の参加を得て2年ぶりに街頭活動を行なうことができました。

キャンペーンの計画遂行については、最近の深刻な不況のもとで、スーパーが超多忙であることなども気になっていました。実際に、行動する市民の側とスー

パーとの連絡がうまく行かなかったり、問題もありましたが、大半の店が以前のようにアンケート回答者に粗品を用意していただき、結果としては市民と事業者のパートナーシップを実感できる行動として成功させることができました。

中学2年生の保護者へのアンケートと異なり、店頭でのアンケート集めは、買物客の年齢層がより高い方に偏っていますが、早く回答に応じてくれる市民の協力もあり、行動した私たちとしてはまた新たな元気をもらった気分になりました。

集めたアンケート1300枚の集計については遅れていますが、マイバッグ合同班で早急に会議を持ち集約する計画です。(奥野)

昨年9月に全社を挙げISOの認証を取得
松尾電機株式会社

「ISO14001」と言うことばは、環境問題に関わるものにとってはすでになじみになっている、事業所にとっての環境基準の国際規格です。

松尾電機は2000年9月25日に、千成町の本社ならびに本社工場と福知山工場の子会社をまとめてISO14001の認証を取得しました。

本社を訪ねると、玄関ロビーのショーウィンドーに小さなコンデンサーが並んでいます。頭が指先ぐらいで針金の脚が2本ひょろりと出た、火星人のミニチュアのようなもの。かと思うと、鉛筆の芯の先ぐらいの小さなチップ。さらに小さなものは0.5ミリのサイズで、虫眼鏡でのぞくように展示されていました。

それらの超小型コンデンサーは、携帯電話などにも使われているのでしょうか。傍に携帯電話やデジタルカメラが基盤をむき出しにして置かれていました。

小型の電機部品工場では常識？

門を入ると、玄関脇に「アイドリングストップ」の立て看板がありましたが、それ以外には「環境に配慮した工場」という雰囲気はあまり感じられません。不思議に思い環境担当の方に訊ねました。

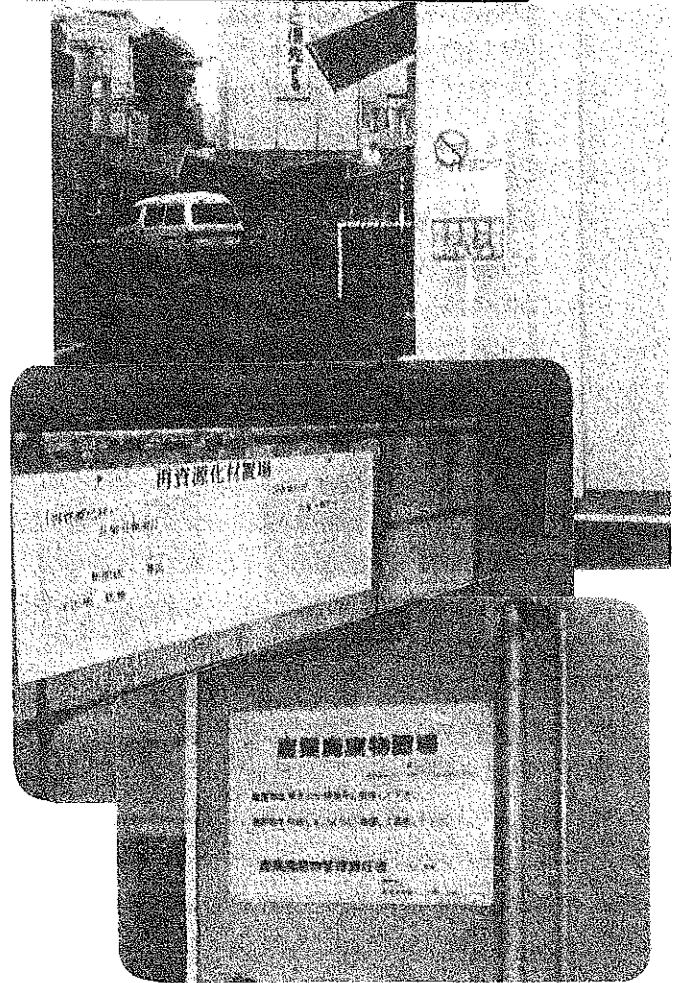
「『ISO14001』と言っても、やっていることは資財の節約と廃棄物規制のクリアですから、本当はあまり変わらないんです。『節電』の語が『省エネ』になったりしただけです」と。

この種の小さな電機部品を製造する工場では常識だったことばかりなのか、と少しばかり納得。

「以前からごみの分別を行い、また公害関係の規制、下水道法による排水処理、ガスボイラーなどの排ガス対策、その他環境基本条例など31項目が法例の要件になっています。それらを整理しリスト化することで」と、坦々としたものでした。

整理については、次の点が配慮されたそうです。

1. 届け出等の日付を明確にしておくこと。
2. 環境に関する基準書に基づいた行動を明確にすること。



3. 従業員教育等の記録を文書にして残しておくこと。

4. 緊急時の対応手順書を整理しておくこと。
環境汚染になる溶剤などの流出事故のとき、対応手順が文書になっていて、訓練が出来ていることだと言っていました。

——環境基準書が整理されたメリットは？

「対外的には会社としての宣伝効果があったでしょうね。作業衣もリサイクルマークのついたものを着ていますし、トイレトーパーも再生紙100%のものが備えつけられています。また、国際規格による環境管理責任者には常務が就くなど、以前の安全衛生責任者とは違った体制もできました」

「マニュアルがしっかりとしたものになると、人事異動があっても誰もが間違いなく適応できるようになります」という話でした。(文責 奥野)

ひと・人・hito

さわ あつし
澤 温

さん (医療法人北斗会 さわ病院院長)

このコーナーでは、地域や家庭など身近なところで環境に取り組んでいる人を紹介しています。

「親父が、もったいながり屋でしたからね」と澤温院長は笑った。さわ病院の環境への取り組みの歴史は古く、先代院長の頃からチラシや脳波用紙の再利用、職員寮の屋根に太陽熱温水器の設置などが行われていた。学生時代から環境問題に関心があった澤温さんは、院長就任後、病院をあげて環境への取り組みを積極的にする。ボイラー熱の再利用、病院の建て替え工事の時に出る建築廃材のドアやブロックの再利用、牛乳紙パックの回収など。

リサイクル用の機密書類の保管場所、生ゴミ処理機が出す大量の堆肥の使い途に困りながらも、屋上に設置できる小型風力発電機、リサイクルできるおむつを探して情報収集。

「大変ではないですか？」の質問に、「環境問題に関心があるソーシャルワーカーや医師、栄養士、臨床検査技師たちと集まってやってるクラブ活動みたいなものですよ」と事もなげに言う。

その努力が実り、病院機能評価Aを取得、次はISO14001（環境企画）とISO9001（品質企画）取得が目標だ。

環境に配慮する一方、精神障害者を中心に地域医療に取り組むため、病院の他、在宅介護支援センター、訪問看護ステーション、精神障害者通所授産施設、福祉工場などを建設。

「精神医療に地域の理解は必要ですが、負担はかけたくありません。池田小学生殺傷事件の直後、地元の小学生と父兄が病棟を見学に来られたのは、本当にう

れしかったです。」

地域と環境にやさしい精神医療をめざし、さわ病院の挑戦はこれからも続くのだろう。(文責 小南)



生ごみ堆肥化の事業いよいよ

豊中市域食品リサイクル計画策定事業

食品リサイクル法をうけて、豊中市域の食品関連事業者、農業者、市などが連携して循環型社会のあり方と有機性廃食品の再利用や利用方法を協議し、リサイクル計画を策定することを目的に協議会をつくりました。

豊中市域食品リサイクル計画策定事業とは、農水省が(財)食品産業センターに委託して実施するもので書類審査とヒアリングで助成の承認を受けました。

会長は京都大学の内藤先生です。生ごみプロジェクトもメンバーの一員として入り、これまで2年間に蓄積してきた生ごみ堆肥化のリアクターのメンテナンスや、二次発酵の管理などについて経験を生かし研究します。

また、行政も含め、生ごみ排出事業所や使う側として園芸高校、農家の方などと生ごみリサイクルに関して顔の見える大きいリンクを描きたいと思っています。(高島)

[活動報告]

9月25日

「とよなか市民環境会議」に関する事例発表

場 所：熊本市

出席者：河野 猪太夫

10月24日

東京都中野区議会議員行政視察

内 容：「とよなか市民環境会議」について

出席者：山口 寿、宮田 健、新開 悦子

今後のスケジュール

市民環境会議

●日時 12月1日(土) 13:00~17:00
12月2日(日) 10:00~17:00

●場所 市民会館大集会室

*詳しくは「広報とよなか」をご覧ください。

◎次の部会等は 定例的に会議を行っています。参加を希望される方は、事務局までお問合せください。

- ・自然部会 毎月第2月曜日 18時~
- ・ワキガグループ 毎月第3木曜日 19時~

秋の自然観察講座

●日時 12月15日(土) 13:30~15:30

●場所 中央公民館講座室(3階)

●内容 淡水魚の不思議な生き方

●講師 長田 芳和さん(大阪教育大学)

- ・生活部会 毎月第3土曜日 13時30分~

創作民話マチカネワニ

『なつかしい匂いと長い夢』

マチカネワニはシュレッターとして働き始めました。皆が来て、ざっざとワニの歯で裂いていきます。ワニはおもしろくて、次々と紙を裂いて捨てました。しかし、その午後、ある書類に歯を入れた時!

その書類を裂くと…。

なつかしい植物の匂いが広がりました。
昔の友達の匂いもしました。

いつのまにかワニは数億年前の池の端に座っていて
その友と一緒におやつ藻を食べていました。

シュレッターは我に返りました。

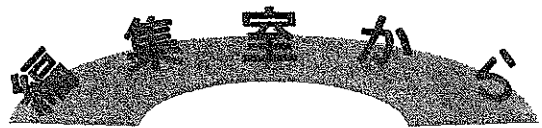
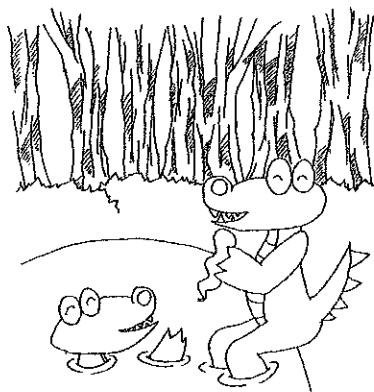
泣きながら思わず紙を食べてしまっていました。
紙を食べると、さらに友達の歌声まで聞こえました。
シュレッターはもうこれ以上、紙を捨てつづけられず
早退しました。

家に帰ったワニは長い夢を見ました。

朝、うんちをすると、新しい紙が代わりに出てきました。

<つづく…>

(E三宅)



昨年度の「豊中市環境報告書・中間報告」ができ、それを討論する環境フォーラムも開かれた。市民環境会議の発足からすでに5年が過ぎたことでもあり、私たちの運動がどれほどのことをなし得たかも、立ち止まって考えたい時期に来ている。中間報告では市民1人あたり二酸化炭素排出量は「対90年度比で10.9%増」になっていた。目標は0.85%減だから、これは本当に深刻に受けとめる必要がある。「とよなかアジェンダ21」の実践といってみても、結果として少しも成果が上がっていないことを、一層シビアに考えてみる必要がある。ワーキンググループでは当面アジェンダ21の方針にそって、組織づくりの課題で議論を進めている最中だが、それを終えたら新年度にかけて、実効ある議論をしたいと思う。(Z)

《広報チーム》 Z奥野、M荒井、H山口、Y小南、
N富田、E三宅、A亀村、N東郷

ニュースレターの原稿募集

とよなか市民環境会議では3ヵ月ごとに、ニュースレターを発行しています。そこにあなたの意見、感想を載せてみませんか。掲載を希望される方は、事務局までご連絡ください

発行：とよなか市民環境会議

編集責任：奥野 享

事務局：豊中市生活環境部環境企画課内

〒561-8501 大阪府豊中市中桜塚3-1-1

TEL：06(6858)2106 FAX：06(6842)2802

★とよなか市民環境会議は、市民・事業者・行政の
パートナーシップ組織です